

実質化された人・農地プラン

市町村名	対象地区名(地区内集落名)	作成年月日	更新年月日		直近の更新年月日
黒石市	黒石地区 (元町、弥生町、前町、中町、大板町、袋井町、浜町、境松、黒石、柵ノ木、野添、浦町、ぐみの木、野際、あけぼの町、北田中、目内澤、小屋敷、飛内、中馬場尻、新村、大村、派村、二双子)	令和2年3月24日	令和3年3月25日 (1回目更新)	令和4年12月5日 (2回目更新)	令和5年3月20日

1 対象地区の現状

①地区内の耕地面積	921.1ha
②アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の耕作面積の合計	502.9ha
③地区内における70才以上の農業者の耕作面積の合計	274.1ha
i うち後継者未定の農業者の耕作面積の合計	2.7ha
ii うち後継者について不明の農業者の耕作面積の合計	133.5ha
④地区内において今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計	220.7ha
(備考) ②及び③について、令和元年度時に実施したアンケート調査を参照。	

注1:③には、地域の実情に応じて、5～10年後の農地利用を議論する上で適切な年齢を記載します。

注2:④の面積は、下記の「(参考)中心経営体」の「今後の農地の引受けの意向」欄の「経営面積」の合計から「現状」欄の「経営面積」の合計を差し引いた面積を記載します。

注3:アンケート等により、農地中間管理機構の活用や基盤整備の実施、作物生産や鳥獣被害防止対策、災害対策等に関する意向を把握した場合には、備考欄に地区の現状に関するデータとして記載してください。

注4:プランには、話合いに活用した地図を添付してください。

2 対象地区の課題

大規模農家及び農業法人が大きく集約されている地域であり、今後中小規模農家の離農の際にスムーズな農地の貸借が必要。
 今後は区画整備等も検討し、より集約される地域を目指す。

注:「課題」欄には、「現状」を基に話合いを通じて提示された課題を記載してください。

3 対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

大板町、ぐみの木について、水稻利用は1経営体が担い、今後は他集落の中心経営体、入作を希望する認定農業者や認定新規就農者の受け入れを促進する。
袋井町、浦町について、水稻利用は1経営体が担い、今後は他集落の中心経営体、入作を希望する認定農業者や認定新規就農者の受け入れを促進する。
境松、黒石について、水稻利用は27経営体が担い、今後は農地中間管理事業を活用し農地を集約していく。
野際、野添、あけぼの町、柵ノ木、目内澤について、水稻利用は13経営体が担い、今後は農地中間管理事業を活用し農地を集約していく。
小屋敷について、水稻利用は17経営体が担い、今後は農地中間管理事業を活用し農地を集約していく。

飛内について、水稻利用は5経営体が担い、今後は農地中間管理事業を活用し農地を集約していく。
中馬場尻について、水稻利用は8経営体が担い、今後は農地中間管理事業を活用し農地を集約していく。
新村について、水稻利用は5経営体が担い、今後は農地中間管理事業を活用し農地を集約していく。
大村について、水稻利用は1経営体が担い、担い、今後は他集落の中心経営体、入作を希望する認定農業者や認定新規就農者の受け入れを促進する。
派村について、水稻利用は7経営体が担い、今後は農地中間管理事業を活用し農地を集約していく。
二双子について、水稻利用は10経営体が担い、今後は農地中間管理事業を活用し農地を集約していく。

注1: 中心経営体への農地の集約化に関する将来方針は、対象地区を原則として集落ごとに細分化して作成することを想定していますが、その「集落」の範囲は、地域の実情に応じて柔軟に設定してください。

注2: 「中心経営体」には、認定農業者、認定新規就農者、経営所得安定対策の対象となる法人化や農地の利用集積を行うことが確実と市町村が判断する集落営農及び市町村の基本構想に示す目標とする所得水準を達成している経営体等が位置付けられます。

4 3の方針を実現するために必要な取組に関する方針(任意記載事項)

農地中間管理機構の活用方針 原則として、農地中間管理事業を活用し農地を集積・集約していく。
基盤整備への取り組み方針 農業の生産効率の向上や農地集積・集約化を図るため、農地の大区画化等の基盤整備に取り組んでいく。

(参考) 中心経営体

令和4年12月末

属性	経営体 (氏名)	経営者・代 表者の年齢	現状		今後の農地の引受けの意向			新規就農・ 6次産業化・ 高付加価値化・ 複合化・ 低コスト・ 法人化 等の取 組	備考
			経営作目	経営面積	経営作目	経営面積	農業を営む範囲		
到達	※※ ※※	※※ 才	水稲	20.99 ha	水稲	25.00 ha	境松、黒石	6次産業化、高付加価値化、複合化、低コスト化、規模拡大	うち機構面積 6.06ha
認農	※※ ※※	※※ 才	水稲 野菜	15.42 ha	水稲 野菜	20.50 ha	野添、あけぼの町、北田中、黒石、派村、新村、小屋敷	高付加価値化、複合化、低コスト化、規模拡大	うち機構面積 2.62ha
認農	※※ ※※	※※ 才	野菜	4.54 ha	野菜	8.00 ha	黒石、境松	高付加価値化、低コスト化	
認農	※※ ※※	※※ 才	水稲 野菜 果樹	3.89 ha	水稲 野菜 果樹	5.00 ha	小屋敷	6次産業化、高付加価値化、複合化、低コスト化、規模拡大	
認農	※※ ※※	※※ 才	水稲 野菜	4.01 ha	水稲 野菜	12.25 ha	小屋敷、中馬場尻	6次産業化、高付加価値化、複合化、低コスト化、規模拡大	
認農 法	※※ ※※	※※ 才	水稲 果樹	9.11 ha	水稲 果樹	10.00 ha	あけぼの町、黒石、二双子	高付加価値化、複合化、低コスト化、規模拡大	うち機構面積 6.39ha
認農	※※ ※※	※※ 才	水稲	1.75 ha	水稲	3.01 ha	二双子	6次産業化、高付加価値化、低コスト化、規模拡大	
認農	※※ ※※	※※ 才	水稲 野菜 果樹	12.66 ha	水稲 野菜 果樹	15.62 ha	あけぼの町、黒石、小屋敷	6次産業化、高付加価値化、複合化、低コスト化、規模拡大	うち機構面積 3.72ha
認農	※※ ※※	※※ 才	水稲 野菜 果樹	3.23 ha	水稲 野菜 果樹	7.21 ha	黒石、北田中	高付加価値化、複合化、低コスト化、規模拡大	
認農	※※ ※※	※※ 才	野菜	3.16 ha	野菜	5.45 ha	黒石、小屋敷	6次産業化、高付加価値化、複合化、低コスト化、規模拡大	
到達	※※ ※※	※※ 才	水稲 野菜	0.76 ha	水稲 野菜	1.95 ha	浦町、黒石	高付加価値化、低コスト化、規模拡大	

認農	※※ ※※	※※ 才	水稻 野菜	28.18 ha	水稻 野菜	30.00 ha	北田中、黒石、飛内、派村	6次産業化、高付加価値化、複合化、低コスト化、規模拡大	うち機構面積 8.15ha
到達	※※ ※※	※※ 才	花卉 水稻	1.01 ha	花卉 水稻	2.16 ha	新村	高付加価値化、複合化、低コスト化	
認農	※※ ※※	※※ 才	水稻	9.05 ha	水稻	10.00 ha	小屋敷、飛内	高付加価値化、低コスト化、規模拡大	うち機構面積 1.74ha
認農	※※ ※※	※※ 才	水稻	14.02 ha	水稻	30.00 ha	野添、柵ノ木	6次産業化、高付加価値化、低コスト化、規模拡大	うち機構面積 3.86ha
認農	※※ ※※	※※ 才	水稻 野菜	14.26 ha	水稻 野菜	30.10 ha	派村、大村、新村、黒石	6次産業化、高付加価値化、複合化、低コスト化、規模拡大	うち機構面積 1.61ha
認農	※※ ※※	※※ 才	果樹 水稻	2.71 ha	果樹 水稻	5.00 ha	二双子	高付加価値化、複合化、低コスト化、規模拡大	うち機構面積 0.85ha
認農	※※ ※※	※※ 才	水稻 野菜	5.53 ha	水稻 野菜	8.00 ha	小屋敷	6次産業化、高付加価値化、複合化、低コスト化、規模拡大	うち機構面積 0.71ha
到達	※※ ※※	※※ 才	果樹 水稻	1.15 ha	果樹 水稻	1.50 ha	派村	高付加価値化、複合化、低コスト化	
認農 法	※※ ※※	※※ 才	水稻 野菜 果樹	3.23 ha	水稻 野菜 果樹	15.00 ha	小屋敷、あけぼの町	低コスト化、規模拡大	
認農	※※ ※※	※※ 才	水稻	7.96 ha	水稻	12.00 ha	二双子、あけぼの町、柵ノ木	6次産業化、高付加価値化、低コスト化、規模拡大	うち機構面積 1.39ha
認農	※※ ※※	※※ 才	水稻 野菜	6.10 ha	水稻 野菜	10.10 ha	中馬場尻、新村、黒石	6次産業化、高付加価値化、複合化、低コスト化、規模拡大	
認農	※※ ※※	※※ 才	水稻 果樹	1.67 ha	水稻 果樹	1.67 ha	黒石、派村	6次産業化、高付加価値化、複合化、低コスト化、規模拡大	
認農	※※ ※※	※※ 才	水稻 野菜	9.71 ha	水稻 野菜	15.60 ha	小屋敷、中馬場尻、黒石	6次産業化、高付加価値化、複合化、低コスト化、規模拡大	うち機構面積 0.87ha

到達	※※ ※※	※※ 才	水稻 野菜	3.40 ha	水稻 野菜	3.40 ha	小屋敷	6次産業化、高付加価値化、複合化、低コスト化、規模拡大	
認農	※※ ※※	※※ 才	水稻	7.60 ha	水稻	15.00 ha	黒石	6次産業化、高付加価値化、低コスト化、規模拡大	うち機構面積 2.86ha
認農	※※ ※※	※※ 才	水稻	5.27 ha	水稻	15.00 ha	二双子、あけぼの町	高付加価値化、低コスト化、規模拡大	うち機構面積 1.01ha
認農	※※ ※※	※※ 才	水稻	13.90 ha	水稻	17.00 ha	小屋敷、飛内	6次産業化、高付加価値化、低コスト化、規模拡大	うち機構面積 4.14ha
認農	※※ ※※	※※ 才	水稻 果樹	6.30 ha	水稻 果樹	10.20 ha	二双子	6次産業化、高付加価値化、複合化、低コスト化、規模拡大	うち機構面積 1.91ha
到達	※※ ※※	※※ 才	水稻 野菜	6.57 ha	水稻 野菜	16.00 ha	境松、黒石	6次産業化、高付加価値化、複合化、低コスト化、規模拡大	うち機構面積 1.21ha
認農	※※ ※※	※※ 才	水稻 果樹	1.37 ha	水稻 果樹	4.27 ha	派村	6次産業化、高付加価値化、複合化、低コスト化、規模拡大	うち機構面積 0.75ha
認農	※※ ※※	※※ 才	水稻 野菜	10.75 ha	水稻 野菜	11.00 ha	中馬場尻	6次産業化、高付加価値化、複合化、低コスト化、規模拡大	うち機構面積 5.54ha
認農	※※ ※※	※※ 才	水稻 野菜	11.71 ha	水稻 野菜	13.00 ha	黒石	6次産業化、高付加価値化、複合化、低コスト化、規模拡大	うち機構面積 3.07ha
認農	※※ ※※	※※ 才	水稻 野菜	2.58 ha	水稻 野菜	5.00 ha	中馬場尻、新村	6次産業化、高付加価値化、複合化、低コスト化、規模拡大	うち機構面積 0.68ha
認農	※※ ※※	※※ 才	水稻 野菜	5.40 ha	水稻 野菜	6.30 ha	派村	6次産業化、高付加価値化、複合化、低コスト化、規模拡大	
到達	※※ ※※	※※ 才	水稻	8.62 ha	水稻	10.00 ha	小屋敷、飛内	6次産業化、高付加価値化、低コスト化、規模拡大	うち機構面積 2.97ha
認農	※※ ※※	※※ 才	水稻	6.62 ha	水稻	11.00 ha	あけぼの町、黒石、境松、小屋敷	6次産業化、高付加価値化、低コスト化、規模拡大	うち機構面積 0.51ha

認農	※※ ※※	※※ 才	水稻 野菜	2.56 ha	水稻 野菜	10.00 ha	小屋敷	高付加価値化、 複合化、低コスト化、規模拡大	
到達	※※ ※※	※※ 才	水稻 果樹	1.25 ha	水稻 果樹	4.00 ha	北田中、黒石	高付加価値化、 複合化、低コスト化、規模拡大	
到達	※※ ※※	※※ 才	水稻	1.33 ha	水稻	4.00 ha	黒石、ぐみの木	高付加価値化、 低コスト化、規模拡大	
認農	※※ ※※	※※ 才	水稻	14.28 ha	水稻	17.00 ha	境松、黒石	6次産業化、高付加価値化、 低コスト化、規模拡大	うち機構 面積 3.93ha
到達	※※ ※※	※※ 才	水稻	2.63 ha	水稻	4.60 ha	黒石	高付加価値化、 低コスト化	うち機構 面積 0.84ha
認農	※※ ※※	※※ 才	水稻 野菜	5.72 ha	水稻 野菜	12.00 ha	中馬場尻、飛内	6次産業化、高付加価値化、 複合化、低コスト化、規模拡大	うち機構 面積 0.73ha
到達	※※ ※※	※※ 才	水稻 野菜	2.87 ha	水稻 野菜	3.17 ha	派村、馬場尻北	高付加価値化、 複合化、低コスト化、規模拡大	
到達	※※ ※※	※※ 才	水稻 野菜 果樹	3.26 ha	水稻 野菜 果樹	4.00 ha	あけぼの町	高付加価値化、 複合化、低コスト化、規模拡大	
到達	※※ ※※	※※ 才	水稻 野菜	1.27 ha	水稻 野菜	4.30 ha	黒石	高付加価値化、 複合化、低コスト化、規模拡大	
到達	※※ ※※	※※ 才	野菜 水稻	1.41 ha	野菜 水稻	1.60 ha	北田中	高付加価値化、 複合化、低コスト化、規模拡大	
認農	※※ ※※	※※ 才	水稻 野菜	4.12 ha	水稻 野菜	7.30 ha	中馬場尻	高付加価値化、 低コスト化、規模拡大	
到達	※※ ※※	※※ 才	水稻 果樹	2.06 ha	水稻 果樹	4.28 ha	黒石	高付加価値化、 複合化、低コスト化、規模拡大	

到達	※※ ※※	※※ 才	水稻 野菜	1.36 ha	水稻 野菜	4.30 ha	小屋敷	高付加価値化、 複合化、低コスト化、規模拡大	
認農	※※ ※※	※※ 才	野菜	1.03 ha	野菜	1.03 ha	中馬場尻	新規就農、高付 加価値化、低コスト化、規模拡大	
到達	※※ ※※	※※ 才	野菜	1.17 ha	野菜	1.17 ha	黒石	新規就農、高付 加価値化、低コスト化、規模拡大	
到達	※※ ※※	※※ 才	野菜 水稻	0.61 ha	野菜 水稻	1.50 ha	小屋敷	新規就農、高付 加価値化、低コスト化、規模拡大	
到達	※※ ※※	※※ 才	野菜	0.34 ha	野菜	0.78 ha	飛内	新規就農、高付 加価値化、低コスト化、規模拡大	
到達	※※ ※※	※※ 才	野菜 果樹	0.60 ha	野菜 果樹	0.90 ha	あけぼの町	新規就農、高付 加価値化、低コスト化、規模拡大	
到達	※※ ※※	※※ 才	水稻 果樹	0.40 ha	水稻 果樹	3.30 ha	境松	新規就農、高付 加価値化、複合化、低コスト化、規模拡大	
到達	※※ ※※	※※ 才	野菜 果樹	0.21 ha	野菜 果樹	2.00 ha	あけぼの町	新規就農、高付 加価値化、低コスト化、複合化、規模拡大	
到達	※※ ※※	※※ 才	水稻 果樹	1.28 ha	水稻 果樹	3.50 ha	二双子	高付加価値化、 低コスト化、規模拡大	
到達	※※ ※※	※※ 才	野菜	0.00 ha	野菜	1.50 ha	二双子	新規就農、高付 加価値化、低コスト化、規模拡大	
認農 法	※※ ※※	※※ 才	水稻	33.37 ha	水稻	40.00 ha	地区全体	6次産業化、高 付加価値化、複合化、低コスト化、規模拡大	うち機構 面積 12.73ha
認農	※※ ※※	※※ 才	果樹 水稻	2.28 ha	果樹 水稻	5.00 ha	境松	新規就農、高付 加価値化、低コスト化、複合化、規模拡大	うち機構 面積 0.97ha
認就	※※ ※※	※※ 才	野菜	0.17 ha	野菜	0.17 ha	黒石	新規就農、規模 拡大	

認就	※※ ※※	※※ 才	水稻 野菜	1.71 ha	水稻 野菜	2.00 ha	二双子	新規就農、規模 拡大	
認就	※※ ※※	※※ 才	果樹	1.14 ha	果樹	1.14 ha	あけぼの町	新規就農、規模 拡大	
認定 法	※※ ※※	※※ 才	水稻	2.00 ha	水稻	5.00 ha	境松、黒石	低コスト化、規 模拡大	
認就	※※ ※※	※※ 才	果樹 水稻	1.10 ha	果樹 水稻	1.61 ha	小屋敷	新規就農、規模 拡大	
到達	※※ ※※	※※ 才	果樹	0.49 ha	果樹	0.68 ha	黒石	規模拡大、高付 加価値化、低コ スト化	
認農	※※ ※※	※※ 才	水稻	1.40 ha	水稻	3.00 ha	黒石 目内澤	規模拡大、高付 加価値化、低コ スト化	
認農	※※ ※※	※※ 才	水稻 野菜	1.66 ha	水稻 野菜	5.40 ha	あけぼの町 目内澤	規模拡大、高付 加価値化、低コ スト化	
到達	※※ ※※	※※ 才	水稻	4.64 ha	水稻	12.10 ha	中馬場尻 小屋敷	規模拡大、高付 加価値化、低コ スト化	
計		70 人		373.9 ha		594.6 ha			

注1：「属性」欄には、個人の認定農業者は「認農」、法人の認定農業者は「認農法」、認定新規就農者は「認就」、法人化や農地集積を行うことが確実であると市町村が判断する集落営農は「集」、基本構想水準到達者は「到達」と記載します。

注2：「今後の農地の引受けの意向」欄については、現状からおおむね5年から10年後の意向を記載します。

注3：「経営面積」欄には、プランの対象地区内における中心経営体の経営面積を記載します。